

クラス番号	213	ゼミタイプ	サービスラーニング（コミュニティ）型
		担当教員名	小藤あけみ
テーマ	武豊町をフィールドとして行政と住民の協働を考える		

## ゼミナール概要

目的、内容、方法等：

少子高齢化・環境問題・教育・防災・貧困など地域の課題は多様化しています。また新型コロナウイルスの感染拡大をきっかけに、仕事や住まいを失うなど新たな問題に直面している住民やテレワークにより地域で過ごす時間が増えた住民などこの2～3年の間に変化は多くあります。

地域づくりは行政がすべて担うのではなく、住民と行政がお互いの役割を分担し、協働してまちづくりを進めていくことが重要です。

また、地域包括ケアシステムや地域共生社会の実現に向けてますます地域の力が必要になっていきます。

このゼミでは地域の様々な課題の解決に向けて自主的に取り組みを継続している団体や行政と住民との協働で行っている活動に参加していきます。

活動を通して、住民と行政のお互いの役割について考え、どのような支援があれば住民主体の活動を継続することができるのか考えていきます。

学習目標 住民主体の活動を継続するために必要な支援について考える。また学生としてできることを考えて実行し自ら評価を行う。

授業計画：

前期 武豊町総合計画（たけとよゆめたろうプラン）や財政状況資料の学習

各団体の紹介と各団体について調査

グループ分けと活動先の決定

夏休み 各団体の活動に参加し、学生としてできることを実行する

後期 活動のリフレクション

活動報告会に向けて資料作成

地域の課題の解決策など興味を持った点について調査などを行う

1年間のまとめと研究報告会

## 担当教員からのメッセージ

地域福祉の基本は地域で暮らしている住民が気づいた地域の課題に主体的にかかわり、取り組んでいくことだと思っています。地域にはたくさんの団体がいろいろな思いをもって活動しています。

その思いを感じて、学生の立場で何ができるのか、また皆さんの実家のある町についても住民として地域の課題について何ができるのかを一緒に考えていきましょう。